

# Monthly Letter



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～平成31年度)  
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』  
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学

文部科学省  
地(知)の拠点

## ふくい地域創生士®が「考福塾」に参加し、県内企業等の次世代リーダーと討議しました。

平成30年10月27日福井銀行、福井新聞社が主催する「考福塾」(第6期 第4回研修会)が、アオッサを会場として49名が参加し開催されました。

今年で6年目を迎える「考福塾」は、福井県内の企業、団体等で働く若者から次世代のリーダーを育成する研修会として開講され、ふくいCOC+事業推進協議会としては3年連続の参加となり、講演・発表及びグループ討議を実施し、塾生・考福塾OB・OG、参加教員・学生と、地方創生に向けた学生の役割や養うべき能力等の人材育成について議論を深めました。

今回の研修会には、ふくいCOC+連携5大学から、「ふくい地域創生士」の1期生に認定された学生3名と、2期生の認定を目指している学生2名が参加し、各々の取組む活動や意欲・思いについて発表しました。

講演では、福井大学の岩井理事及び小嶋教授からCOC+事業や「ふくい地域創生士の制度創設」の意義や現状について報告した後、グループ討議を行ないました。グループ討議では、塾生等に加え、福井県内の学生・教職員が入り、5班に分かれCOC+事業への理解やこれからの展望についてテーマごとに活発に討議しました。



福井大学副学長  
(COC+事業推進責任者)  
岩井 善郎



グループ討議の中で、学生からは、「制度が、まだ県内企業に浸透していない現状」が伝えられる一方で、塾生からは、「地域も、主体性を持って制度を成長させるべきである」ことや、「創生士という肩書ではなく、創生士になるために何を学んだかが大切」等の意見が出されました。

今回出された意見も踏まえながら、今後もCOC+事業を推進してゆきたいと考えております。

### 学生必読

## 「ふくい地域創生士®」申請の締切り迫る！

皆さんの所属する大学で、「ふくい地域創生士」認定のための、申請書提出を9月から受付開始しています。早い大学では、11月末提出締切の大学もありますので、ご注意ください！

「ふくい地域創生士」の申請要件を満たしている学生の皆さん、申請書は提出しましたか？

昨年1期生から、就活で役に立ったという意見も寄せられていますよ！

大学によって、申請締切日が異なるため、検討している学生さんは、今すぐ！所属する大学の申請窓口へお急ぎください！

## ふくい地域創生士®

### 締切迫る！

対象  
3年次生以上



>> 申請書は下記コード >>  
リンク先HPから

「ふくい地域創生士」申請書は、右記ふくいCOC+HPリンク先をチェック！→



就活で役立つ  
申請書受付始まる！  
ふくい地域創生士

提出先：各大学窓口まで  
問い合わせ先：

福井大学	学務部教務課	0776-27-8600
福井県立大学	教育推進課	0776-61-6000
福井工業大学	学務課	0776-29-7865
仁愛大学	学生支援センター教務課	0778-27-2257
敦賀市立看護大学	教務学生課	0770-20-5540

申請書は、WEBからダウンロード  
●ふくいCOC+ホームページ  
<http://www.allfukui-cocp.jp/>  
3年次生以上 急げ！

福井大学において、共通教育科目「キャリアデザイン(自分の将来について考えてみる)」を、教員・キャリアセンター・キャリア支援室・COC推進室が協働で運営するユニークな講義形式で、平成30年度後期から開講しました。

この講義では、

- (1) 自分を振り返ることで、「強み」「弱み」「持っている価値観」などを知る。
- (2) 社会人からの講話や社会人基礎力診断から、「学生時代に何をすべきか」を考える。
- (3) 講義に積極的に参加し行動することで、社会人として必要とされている、「コミュニケーション能力」「協調性・チームで仕事をする能力」を身につける。

ことを目標とし、まずはキャリアの第一歩を踏み出すための大学生活を実りあるものにしてもらいたいという思いが込められています。

教育学部、工学部、国際地域学部から54名の学生が受講中で、第6回目で講義が進んでいます。そもそも、「キャリアデザインとは？」という講義から始まり、日本経済新聞を読むことで日本および世界の情報を知る大切さを再認識したり、自分の過去の振り返りもじっくり行いました。第5回の講義は、中部国際空港株式会社で働いている福井大学OG社員様による講話だったのですが、先輩の活動的だった学生生活を聞いて刺激を受けたようで、大学生活のモチベーションが上がったようです。

今後の授業では、セーレン株式会社や日華化学株式会社という福井県を代表する企業の社員様の話も伺う予定となっており、福井県企業で働く魅力についても発信してゆきます。

この講義は、ふくい地域創生士認定科目となっており、福井大学以外の学生さんも受講可能ですので、次回は福井大学以外の学生さんの受講希望をお待ちしております。

(福井大学 キャリア支援室 嶋田真人様より寄稿いただきました)



ふくいブランド  
創出分野WG

「福がこい」クラウドファンディング始まる!

学生発のプロジェクト  
を応援しよう!

平成29年度より、福井大学のふくいブランド創出部門にて取り組んでまいりました、「防災に彩を『福がこいプロジェクト』」が、この11月より100万円クラスのクラウドファンディングに挑戦しています!

本アイデアは平成28年度に本学主催のイベントにて慶応大生が発案し、その後、慶応大生と本学学生が今日まで試販売等を共同で進めてきました。

そしてこのたび、クラウドファンディングの実現に至りました。

平成30年12月20日23:59までに、目標金額100万円にしないとプロジェクトが前に進まない「All or Nothing方式」です。

- ① 福井県内の特産品を用いた“お土産防災品”というセットを提案しています。
- ② デザインにイロドリを持たせることで、防災へのマイナスイメージを払拭し、防災備蓄の意識を高めることを目的としています。

あと1カ月余り、みなさん、以下のサイトにてご支援を、どうかよろしくお願いたします!!

<https://www.makuake.com/project/fukugakoi/>



(福井大学 産学官連携本部 准教授 竹本拓治先生より寄稿いただきました)

編集後記

季節は一気に秋から冬へ変わっていきますね。「はばたけ地域創生士! サミット」では、学生の貴重な意見を聞くことができ、改めて考えさせていただく機会になりました。本当に一年早いですね。12月になると気持ちも街の雰囲気も年末の様相になって、なんだかソワソワ、あつという間にお正月になりそうです。忙しい時期になります。体調管理に気をつけながら平成最後の年末を乗り切りたいと思います。(飛山)

